

第6回研究推進体「ストレス」フォーラム

エピゲノム調節によるストレス適応

日時: 2012年9月3日(月) 17:30 – 19:30

場所: 山口大学医学部総合研究棟8階多目的室

司会: 藤本充章(医化学)、菅原一真(耳鼻咽喉科学)

1. 熱ストレス応答のエピゲノム調節
瀧井良祐(医化学)
2. HVEM分子による低酸素ストレス反応の誘導と赤血球産生の制御
佐古田幸美(細胞シグナル解析学)
3. 網羅的遺伝子発現解析の現状
高木栄一(医化学)
4. ゼブラフィッシュ側線器有毛細胞の保護に関する研究
廣瀬敬信(耳鼻咽喉科学)
5. ラット顆粒膜細胞の黄体化に伴うStAR遺伝子とCyp19a1遺伝子発現のepigenetics制御の関与
李 理華(産婦人科学)

わたしたちのからだを構成するすべての細胞はいつも同じゲノム情報をもっています。それにも関わらず、個々の細胞の遺伝子発現パターンが異なるのは、エピゲノム情報の違いによるものです。外的環境変化などのストレスに対する適応の分子機構も、このエピゲノム情報の書き換えを基盤としており、その異常は様々な疾患を引き起こすことが明らかとなってきました。本フォーラムでは、エピゲノム調節に焦点を絞り、その調節による細胞の恒常性維持機構の仕組み、及び調節異常によって引き起こされる難治性疾患に対する治療の可能性について議論します。興味のある研究者、大学院生、学部学生他は、是非ご参加ください。

主催: 山口大学研究推進体「ストレス応答と関連した難治性疾患のための戦略」
連絡先: 医化学分野(2215)